旧村合併 70th
町制施行 55th

TOYOSATO
―一生青春 みんなで安心 元気なまち―

# いつまでも、青春中

滋賀県豊郷町町勢要覧



# いつまでも、青春中

豊郷町での人生はどこを切り取っても、
みんなが「いつまでも青春中」です。
誰もが自分らしく輝き続けてほしい——。
一人ひとりの新しい一歩を応援し、
毎日が心弾むまちをめざしています。




## 豊郷町

本町は滋賀県の東部に広がる湖東平野に位置しています。町域は東西5.7㎞、南北4.9㎞、総面積7.80㎢で、滋賀県で最も面積が小さい自治体です。町土の大半は山林のない平坦地で、町の中央を近江鉄道本線と東海道新幹線、西部を国道8号が縦断しています。











夢中になれることに挑戦し、
みんなが新しい出会いに心を躍らせ、
笑い合いながら毎日を楽しむ。
その積み重ねが、
人生をいつまでも輝かせてくれます。







## Contents

04　子育てで、青春中
06　学びで、青春中
08　交流で、青春中
10　未来でも、青春!! [第5次豊郷町総合計画]
12　豊郷AgriNews
16　豊郷さんぽ [マップ・歴史]
20　豊郷町70年のあゆみ
22　町長ごあいさつ・Information[統計データ]

# 子育てで、青春中

充実した子育て支援体制が
安心して子育てできる環境を
実現しています。

母子手帳アプリ
「すくすくアプリとよさと」

町が提供する無料の子育て応援アプリ。妊娠から出産、子育てまでをサポートします。



乳幼児健診

子どもたちの健やかな成長と発達を見守り、支援する機会として乳幼児健診を実施。保健師や栄養士への乳幼児相談もできます。



## 安心の環境をつくる
## 充実の子育て支援体制

豊郷町では、安心して子育てできる環境の整備を進めています。平成26年（2014）には、高校生世代までの医療費無料化を県内で初めて実現。令和元年（2019）には、幼児教育・保育の無償化を開始しました。また、コンパクトなまちだからこそ、子どもの健康を守る乳幼児健診やアプリによる母子健康のサポート、不育症治療助成などの支援を行っています。他にも子育て支援センターでは、子育て相談や一時預かり保育でも子どもを受け入れ、安心の環境をつくっています。



1



2



3

子育て支援センター

親子で自由に遊べる「遊びのひろば」や0〜2歳までの年齢別教室「子育てひろば」、月2回の「英語であそぼう」など遊び場を提供するとともに、学びの場にもなっています。

1.遊びのひろば
2.年齢別教室「子育てひろば」
3.毎月2回開催「英語であそぼう」



1



2



3

町内の保育施設

町内には保育施設として、公立幼稚園１園、公立保育園１園、私立保育園１園があり、乳幼児期の成長や学びを支えています。

1.豊郷幼稚園
2.愛里保育園
3.崇徳保育園



夏原 宏充さん

## 豊郷で青春中！

地域の方々に見守ってもらいながら、子育て支援センターでは他のママともつながり、息子は家の近くに広がる豊かな自然の中で、生き物とふれあいながら発見いっぱいの日々を送っています。

# 学びで、青春中

学校・家庭・地域が一体となって
まちの未来を担う子どもたち一人ひとりの
学びを支えています。



## ICT教育

児童・生徒に１人１台のタブレット端末を使った学習を実施。学習支援ソフトやドリル教材によって、家庭学習にも役立っています。




## わたしたちの犬上

犬上郡の地理や歴史、産業、文化などを学ぶ、社会科の副読本です。



## 中学生議会

町内の中学生を対象に中学生議会を開催しています。通常の議会と同じように進行し、まちの未来や町政への関心を深める機会となっています。





## 夢の教室

小学5年生と中学2年生を対象に、夢を持つことの大切さを元アスリートや現役選手から学ぶ特別授業「夢の教室」を実施しています。



## 丸紅校外学習

町内の小学6年生を対象に、豊郷町出身である近江商人ゆかりの「丸紅」の校外学習を実施。仕事や企業家について学んでいます。



## 子どもたちの成長を多様な学びで支える

これからのまちづくりを担う子どもたちの健やかな成長のために、教育環境の充実に力を入れています。町内には豊郷小学校、日栄小学校、豊日中学校があり、１人１台のタブレット端末や校内の無線設備を整備し、最適な環境での学習に取り組んでいます。さらに、中学生が議員となって町政に触れる「中学生議会」やスポーツ選手から学ぶ「夢の教室」、体験学習など特色ある授業を実施。子どもたちの健やかな成長をあらゆる方面から支えています。



## さとっこふれあい教室

町内の小学１～３年生を対象にし、地域の方を講師とした体験学習を実施しています。




## 地域クラブ

豊郷町の中学校では、下校時刻以降や休日の部活動を地域クラブとして活動しています。令和7年（2025）現在で3つのクラブが活動しています。



## とよっ子探検隊

町内の小学４～６年生を対象に、町外での体験活動を通じ学びを深める活動を実施しています。

## 豊郷で青春中！



山口 心華さん

生徒会活動を通して、たくさんの人と関われるのが学校生活の魅力です。普段は友達と話したり、一緒に勉強したりしています。これからも生徒会として学校づくりに取り組み、地域の方々とのつながりも大切にしていきたいです。

# 交流で、青春中

歴史・文化の中で育まれた
人と人、人と地域のつながりが
広がり、深まっています。




1


2


3

1.江州音頭発祥の地「千樹寺」にて豊郷町江州音頭保存協会による「扇踊り」
2.陽気な総踊りで会場が一つになります
3.各種イベントへ出向き、県内外へ江州音頭の魅力を広く伝えています

## まちのにぎわいを生む人と地域の交流

滋賀県の伝統芸能である江州音頭は、豊郷町で誕生しました。現在も夏祭りの総踊りとして地域に受け継がれており、扇や傘を手にして踊る「扇踊り」「絵日傘踊り」は町の無形民俗文化財に指定されています。また、豊郷町ゆかりのひな人形が展示される「とよさとひなめぐり」や健康と交流を目的とした「健康フェスティバル」など、さまざまなイベントを開催。世代を問わず多くの町民が参加し、地域でのつながりを深めています。



介護予防出前講座

町内に住む高齢者の元気を保つ講座を開催しています。豊郷町健幸のばし体操をしながら健康の保持増進を進めています。

360° VR



豊栄のさと

江州音頭の扇をイメージした総合施設で、公民館や文化ホール、福祉・保健センターなどがあり、まちづくりの拠点となっています。



豊郷町民健康フェスティバル

スポーツでの交流や健康増進を目的としたイベントを開催しています。おとなから子どもまで幅広い世代が参加し、運動を通して交流しています。



とよさとひなめぐり

毎年2～3月に、豊郷町にゆかりのある約30台のひな人形を、町内の5会場で展示するイベントを開催しています。



オータムフェスティバル

毎年秋、豊栄のさとを会場に開催されるイベント。作品展示やステージ、バザーなどが行われ多くの人で盛り上がります。

## 豊郷で青春中！


藤野 恵津子さん

各地域で開催されるイベントでは、扇踊りや絵日傘踊りを披露しており、発祥の地で踊る扇踊りと絵日傘踊りは豊郷町の無形民俗文化財になっています。私たちは、江州音頭を後世に残すために保存と伝承に取り組んでいきます。

# 未来でも、青春!!

## 第５次豊郷町総合計画

第５次豊郷町総合計画は、住民と共にめざすまちの将来像を「一生青春、みんなで安心 元気なまち」と定めています。人口減少や少子高齢化、社会経済情勢の変化など、地域を取り巻くさまざまな課題に対応しながら、将来像の実現に向けて、住民と行政が協働し、持続可能なまちづくりを進めるための基本的な方向性と施策を示しています。

### まちの将来像

# 一生青春

## みんなで安心 元気なまち



基本目標 1

### 子育て環境の強みアップ

本町の子育て・教育環境のよさを活かし、地域の宝である子どもたち一人ひとりを大事にし、地域で見守り、育むため、子どもの発育・発達を支援し、孤立を防ぎ、食や遊び、学びを通じた育ちを応援する仕組みをみんなで築いていきます。住民から評価の高い、子育て・教育環境をより一層強化していきます。



◆子育ての環境づくり
◆子どもの教育環境の充実
◆地域における学習環境の充実
◆まちの文化の保全と育成

基本目標 2

### 全世代参加の地域共生力アップ

「多世代コミュニティ」と「お互いさま」をキーワードとして、地域で各世代間の支え合いが循環するまちづくりを進めます。全世代型地域包括ケアシステムの推進を図るとともに、医療・保健・福祉の一層の充実を図ります。



◆多世代コミュニティの創造と地域福祉の推進
◆全世代型地域包括ケアシステムの推進
◆健康づくりとスポーツの推進
◆高齢者福祉の充実
◆障がい者福祉の充実
◆医療・介護の基盤整備
◆共生のまちづくり

基本目標 3

### 暮らしの安全・安心力アップ

予約型乗合タクシーの「愛のりタクシー」など、誰もが安心して移動できる道路交通・公共交通網の整備をはじめ、南海トラフ地震などに備えた防災・減災対策や地域安全対策の充実、生活環境の整備や環境保全、循環型社会の形成を図り、暮らしの安全・安心を高めます。



◆道路交通・公共交通網の整備
◆生活環境の整備
◆環境保全の推進
◆循環型社会の形成
◆防災・減災対策の充実
◆地域安全対策の充実

基本目標 4

### まちの魅力と活力アップ

本町の農業、商工業、観光など産業の特性を活かした一層の振興を図り、まちの魅力の発信を強化していきます。また、技術革新や地域共生力を活かした新たな雇用の場づくりや起業支援など、多様な働く場づくりを進めます。



◆農業の振興
◆観光の振興
◆地域産業の振興と雇用対策の充実

基本目標 5

### 住民直結の行政力アップ

住みやすく魅力あるまちづくりをめざし、住民と行政が互いの声を丁寧にキャッチボールしながら、情報共有と住民参画のまちづくりを進めます。そして、効率的・効果的な行財政運営や、PPP（公民連携）の推進を図り、持続可能な行政経営を進めます。



◆情報共有と住民参画の推進
◆持続可能な行政経営の推進

# 豊郷 Agri News（アグリニュース）

豊かな郷で育てる、こだわりのおいしさ



News 1




3D再現図は
こちら

## 滋賀県初となる認定・登録

豊郷町石畑にある龍ケ池揚水機場が令和6年（2024）9月3日、滋賀県で初めて世界かんがい施設遺産に認定・登録されました。龍ケ池揚水機場は、地下水を汲み上げる画期的な施設で、干ばつの際に水を汲み上げる重労働から農民を救い、農地の生産性を高め、二毛作を促進し、完成当時の原型をとどめていることが評価されました。石畑は犬上川の扇状地の末端に位置し、古来、干ばつによる苦労が絶えず「はねつるべ」[※1]や

▼龍ケ池揚水機場





▲授賞式の様子（オーストラリア・シドニーにて）

▼世界かんがい施設遺産盾（左）
認定登録証（右）



### かんがい（灌漑）とは

農作物を栽培するにあたって、水を耕地に人工的に導き、行き届いた管理のもとに地域的に配分すること。

※1 はねつるべ → 井戸の横に設置された、てこの原理で水を汲み上げる昔ながらの道具。
※2 お番水 → 渇水時に水田の区域を分けて水を順番に分配する方法。





▲第一次湧水試験

「お番水」[※2]によって水を確保していました。特に明治42年（1909）の干ばつは厳しく、安定した農業用水の水源を求めて龍ケ池の建設が計画されました。同年12月から工事が始まり、延べ1万人もの人員を動員して掘り進め、約1か月で豊富な地下水を確認しました。イギリス製のコンケロル式離心動ポンプ（蒸気ポンプ）を備え付け、水路の整備などを終えて大正2年（1913）に竣工しました。



▲工事完了時の様子



▲初代のイギリス製コンケロル式
離心動ポンプ（蒸気ポンプ）



## 地域性を生かした持続可能な農業

現在、町では主要作物の米や野菜、近江牛など豊かな自然風土と伝統文化を生かしながら、豊郷らしい農作物を生み出しています。特に「近江米」の産地の一つであり、主食用米に加え、飼料用米なども生産されており、地域では水田を有効活用するため、収益力向上を目的とした作付け転換も進めています。また、環境保全型農業にも積極的に取り組み、環境保全型農業直接支払制度などを活用しています。高収益作物への転換や産地づくりを支援する「産地生産基盤パワーアップ事業」なども実施しており、持続可能な農業を実現するための体制づくりを進めています。



## 2 News 田植え体験、バケツ稲づくりで、農業にふれ合う子どもたち



### ふれあいの中で農業を学ぶ子どもたち

豊郷小学校と日栄小学校では、「たんぼのこ体験事業」が行われています。これは体験を通じて食や環境の大切さを考えてもらおうと毎年開催されているもので、児童たちが体験サポーターの方とふれあいながら田植えを体験しています。また、町内園の5歳児はバケツ稲づくりに挑戦しています。園児たちは泥だらけになりながら土づくりをして、稲を育てています。

## 3 News スイーツのような甘みにハマる！「とよ坊かぼちゃん」




### 地域で育まれる小さなブランド

とよさと特産物振興協議会では、豊郷町産の坊ちゃんかぼちゃに「とよ坊かぼちゃん」と愛称をつけ、町の特産物として推進しています。とよ坊かぼちゃんは、重さが2００~５００グラム程度と小さく、高栄養価なうえに糖度が非常に高いかぼちゃです。滋賀県やＪＡと連携し、「産地ビジョン」を策定することで、生産者を対象に補助制度を充実させています。








## 4 News とよさと自慢の逸品

地域に愛され、受け継がれながら
全国へと発信されるふるさとの特産品
ふるさと納税にも掲載中！

ふるさと納税

### 【鮒ずし】

ニゴロブナを塩漬けし、炊いたご飯と一緒に漬けて自然発酵させた「なれずし」の一種。近江の国の郷土食です。



### 【米】

たっぷりと養分を含んだ豊富な水と肥沃な大地に恵まれ、近江盆地特有の朝夕の寒暖の差がおいしいお米を育てます。



### 【近江牛】

日本三大和牛と呼ばれる近江牛は、きめ細かい肉質と脂の甘さ、口の中で溶けるほどおいしい至極の逸品です。



### 【地酒】



伊吹山からの寒風が酒造りに最高の条件を満たす中、鈴鹿山系の豊かな伏流水を使い、江戸時代から変わらない製法で造られています。

### 【おちょこっとかぼちゃプリン 蔵香ーKURAKAー】

「とよさとプリン」と地元の酒蔵とのコラボ商品。かぼちゃのほのかな甘みと酒粕の風味が醸し出す「とよさとプリン」とは少し違ったおとなの味です。



### 【とよさとプリン】

とよ坊かぼちゃんをふんだんに使ったプリン。蒸して作ることで、かぼちゃの風味をしっかりと残しています。



### 【ピザ】

地元食材を使用したピザで、こだわりの生地と石窯による本格冷凍ピザを自宅でも楽しむことができます。



### 【カメロンパン】

豊郷小学校旧校舎のカメをモチーフに作ったカメの形をしたメロンパンです。大きくて食べ応えもあり、見た目もかわいいです。



### 【洋菓子】

クッキーやパウンドケーキ、リーフパイなど、こだわりの焼き菓子があります。



### 【ケーキ】

豊かなコクとなめらかでおいしいクリームチーズを使用した、濃厚でしっとりしたベイクドチーズケーキです。



### 【革キーホルダー】

イタリア、ドイツ、フランスを中心とした海外の高級皮革を厳選して採用し、オリジナリティーあふれる商品をプロデュースしています。



### 【マットレス】

適度な硬さと優れた体圧分散性で理想的な寝姿勢をサポート。しっかりと身体全体を支える、安定感のあるマットレスです。



### 【味噌】

豊郷町産の米と大豆を使用し、じっくり熟成させた味噌。大豆の旨味と米こうじの甘みが織りなす芳醇な味わいが絶品です。



県内一のコンパクトタウン

# 豊郷さんぽ

自然豊かな田園に緑あふれる美しい風景の中、魅力的なお店がそこにあります。
お気に入りが見つかるかもしれません。ゆっくり巡ってみてはいかがでしょうか。

## 国登録有形文化財 豊郷小学校旧校舎群

豊郷小学校旧校舎群は昭和12年（1937）に建てられました。建築家ウィリアム・メレル・ヴォーリズ氏の設計によるモダンな建物は「東洋一の小学校」「白亜の教育殿堂」と称えられました。現在は、町の複合施設として活用されている他、一般公開もされ、親しまれています。









360° VR

［カフェ］ダイニング&バー フクフク

### Dining&Bar FukuFuku.

築140年の古民家をリノベーションした和モダンなDining Barで、小鉢がたくさん並んだ手作りのランチが楽しめます。夜はラウンジになります。









［定食屋］たまや

### 玉屋

昭和27年（1952）創業。中山道沿いにある昔ながらのうどん・丼ぶりのお店。素朴な味わいの中華そばやだしのきいた親子丼が人気です。







［パン・和洋菓子屋］

### きょうかどう

和菓子屋から始まり創業100年。現在は洋菓子・パン屋さんとしても営業。地元産の果物を使ったスイーツがおすすめ。



［パン屋］

### とよせ

豊郷駅前にある昔ながらのパン屋さん。リーズナブルなお値段で地元住民からも長く愛されています。












［定食屋］つむぎや

### 海鮮天ぷら紬屋

職人による本格和食の天ぷらをカジュアルなスタイルで。サクサクふわふわの天ぷらを割烹だしで楽しめます。

個性豊かなお店が
徒歩圏内にあります

## 今も継承される「三方よし」の精神

偉大な近江商人たちを世に送り出してきた豊郷町。近江商人は、江戸時代後期から明治期にかけて近江を拠点に全国を行商し、近代商業の礎を築きました。質素倹約を旨とし、勤勉で好奇心旺盛な気風の強い近江商人を豊郷町は多く輩出しました。その筆頭が現在の伊藤忠商事株式会社や丸紅株式会社を創業し、日本を代表する総合商社に育て上げた初代伊藤忠兵衛とその息子の二代伊藤忠兵衛です。町内にある明治13年（1880）築の初代忠兵衛の旧邸は、「伊藤忠兵衛記念館」として一般公開されています。伊藤家が生活していた頃のまま残された建物内には、初代忠兵衛と二代忠兵衛の愛用品や記録類などが展示され、当時の近江商人の暮らしぶりや彼らの足跡を伝えています。

伊藤忠兵衛の営業戦略は、自分だけが益することなく取引相手、さらには社会全体もよくなるように努める、いわゆる「三方よし」を実践することでした。「三方よし」とは、「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の三つがそろった商売を意味します。売り手には利益があり、買い手は満足し、さらに地域や社会にも役立つことが理想の商売であるという考え方です。この精神は、利益だけを追求するのではなく、人や社会との信頼関係を大切にすることを重視しています。伊藤忠兵衛が体現した近江商人の精神は、現在も伊藤忠商事をはじめ、多くの企業の企業理念や社会貢献活動に受け継がれています。「三方よし」の精神は、商売だけではなく、私たちの日常生活にも生かすことができます。豊郷町は、このような近江商人の精神を今に伝える大切な地域であり、その歴史や文化は現代にも脈々と継承されています。


大手総合商社の伊藤忠商事、丸紅の創始者、伊藤忠兵衛

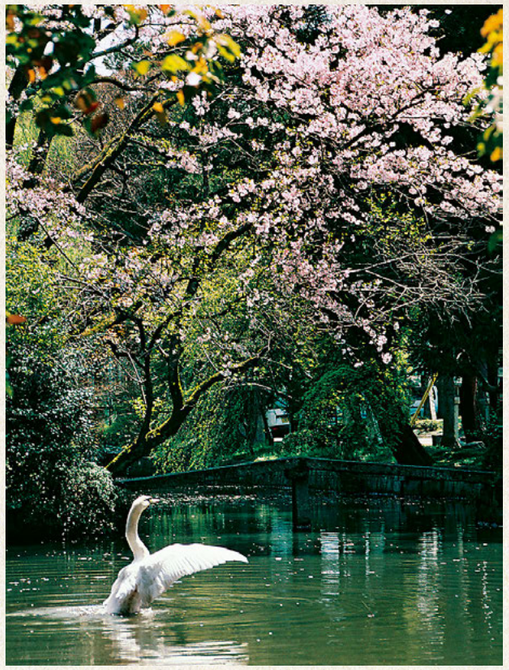


伊藤忠兵衛の愛用品や資料が残る旧邸「伊藤忠兵衛記念館」






戦国時代に高野瀬城主が「楽市」を開いた、天稚彦神社


池泉多島式の庭園が美しい、阿自岐神社

秋は紅葉とイチョウの絨毯がきれいなスポット、春日神社





奈良時代に行基によって創建された、唯念寺

夫婦ケヤキと呼ばれるケヤキの大木が立つ八幡神社（那須城跡）



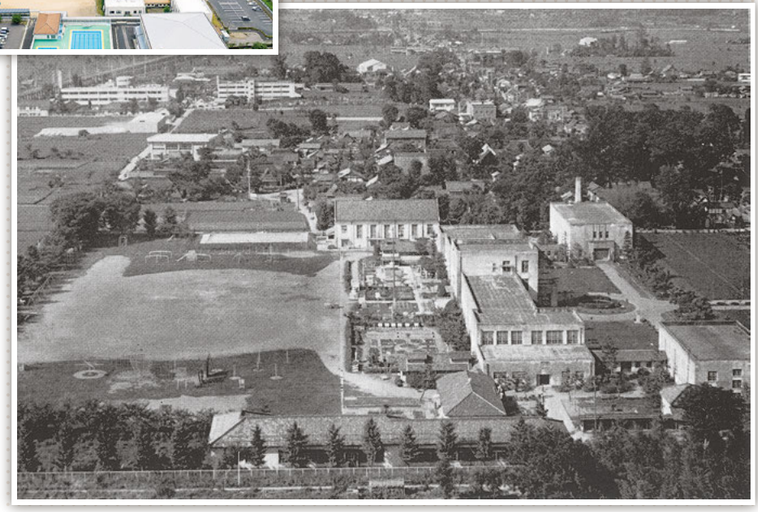

春になると参道の桜が見事に咲き誇る犬上神社

# 豊郷町 70年のあゆみ

history

懐かしい風景や暮らしの様子、現在のまちの姿を見比べながら、その移り変わりを振り返ります。





昭和40年代／豊郷小学校周辺

昭和40年代／豊郷村役場







昭和40年代／豊郷駅前通り






## 豊郷町史『豊郷町の歴史』

豊郷町の古代から現代までの歩みを、体系的にまとめた初の町史です。全四巻構成で作成されており、地域の文化・産業・暮らしなどを紹介しています。町民が郷土への理解と愛着を深められる一冊として刊行しています。





昭和62年／勤労者体育センター

**昭和31年**
- 9月
  - 旧犬上郡豊郷村と旧愛知郡日枝村が合併、新豊郷村が発足
  - 初代村長 伊藤栄吉氏、初代議長 西澤藤平氏

**昭和32年**
- 7月
  - 遺族会結成
- 12月
  - 第1回産業文化祭開催

**昭和33年**
- 7月
  - 豊郷村体育協会結成
- 10月
  - 豊郷商工会発足
- 12月
  - 崇徳保育園認可

**昭和34年**
- 9月
  - 伊勢湾台風で豊郷村災害救助法発動
- 12月
  - 防犯自治会豊郷支部結成

**昭和35年**
- 4月
  - 国道8号開通

**昭和36年**
- 8月
  - 豊郷村日赤奉仕団結成

**昭和37年**
- 4月
  - 豊郷村老人会結成
- 8月
  - 宇曽川改修第一期工事竣工

**昭和38年**
- 7月
  - 豊郷村小中学校PTA連絡協議会結成
- 8月
  - 日栄小学校新築竣工

**昭和39年**
- 10月
  - 東海道新幹線開通

**昭和40年**
- 8月
  - 同和対策審議会答申

**昭和41年**
- 2月
  - 江州音頭発祥地として郷土芸能保存会設立
- 11月
  - 豊郷村有線放送農業協同組合発足

**昭和42年**
- 9月
  - 村章制定（村制10周年記念）
- 10月
  - 豊郷村合併10周年記念式典

**昭和43年**
- 2月
  - 第1回社会教育大会開催
- 10月
  - 第1回村民運動会開催（豊日中学校グラウンド）
- 12月
  - 豊郷公民館竣工

**昭和44年**
- 1月
  - 大町隣保館竣工
- 11月
  - 豊郷村中年婦人会結成

**昭和45年**
- 2月
  - 豊郷村手をつなぐ親の会結成
- 7月
  - 同和対策事業特別措置法施行

**昭和46年**
- 2月
  - 豊郷幼稚園開園
- 4月
  - 三ツ池同光館（隣保館）竣工

**昭和47年**
- 8月
  - 町制施行により新豊郷町が誕生

**昭和49年**
- 4月
  - 興国化学工業KK関西工場誘致調印
- 5月
  - 豊日中学校同窓会発足

**昭和50年**
- 10月
  - 豊郷町商工会館建設
- 11月
  - 大町教育集会所竣工

**昭和51年**
- 8月
  - 豊日中学校同窓会創立
- 11月
  - 三ツ池教育集会所竣工

**昭和52年**
- 3月
  - 社会福祉法人豊郷保育園認可
- 11月
  - 第1回町民文化祭開催

**平成15年**
- 5月
  - 町立日枝保育園竣工

**平成14年**
- 5月
  - 豊郷町隣保館竣工
- 8月
  - 彦根市・豊郷町・甲良町・多賀町合併協議会設立

**平成13年**
- 3月
  - 豊郷町子育て応援医療費助成の拡充により高校生世代までの医療費無料化実施（県内初）
- 4月
  - 豊日中学校 学校給食開始
- 8月
  - 第1回ゆめ街道とっとまつり開催

**平成12年**
- 2月
  - 総合計画（第3次）「豊郷21プラン」策定
- 4月
  - 豊郷町ふれあいプラザ竣工
- 5月
  - とよさと議会だより創刊号発行

**平成10年**
- 6月
  - 豊郷町観光協会設立

**平成9年**
- 3月
  - 集落環境整備事業竣工
- 4月
  - 先人を偲ぶ館開館
- 6月
  - 豊郷町役場庁舎別館竣工
  - 下水道通水式
- 11月
  - 町制施行25周年旧村合併40周年記念式典

**平成8年**
- 3月
  - 南部簡易水道浄水施設竣工

**平成7年**
- 10月
  - 豊郷駅コミュニティハウス竣工

**平成6年**
- 4月
  - 大字杉区、大字日栄区が誕生（16集落になる）

**平成4年**
- 11月
  - 豊郷武道館竣工

**平成3年**
- 9月
  - 「21世紀の豊かな郷づくりビジョン」策定

**平成2年**
- 2月
  - オフトーク通信開局

**平成元年**
- 7月
  - 豊郷東部地区ほ場整備完了

**昭和63年**
- 11月
  - 豊郷町新総合計画

**昭和59年**
- 1月
  - 町の木（うばめがし）町の花（ツツジ）制定

**昭和60年**
- 6月
  - 広報紙「とよさと」創刊号発行

**昭和61年**
- 2月
  - 豊郷町コミュニティセンター竣工

**昭和62年**
- 3月
  - 勤労者体育センター竣工

**昭和53年**
- 3月
  - 豊郷村日枝村合併30周年記念式典

**昭和54年**
- 7月
  - 合併20周年記念式典
- 12月
  - 湖東広域衛生管理組合し尿処理場豊楠苑が竣工

**昭和55年**
- 9月
  - 豊郷町東部土地改良区設立

**昭和56年**
- 8月
  - 県営秦荘地区吉田工区ほ場整備事業完了
- 10月
  - 三笠宮殿下豊会館ご視察

**昭和57年**
- 2月
  - 豊郷町民憲章碑除幕式

**昭和58年**
- 2月
  - 団体営吉田地区ほ場整備事業完了
- 3月
  - 町の木（うばめがし）町の花（ツツジ）制定

**昭和59年**
- 1月
  - 広報紙「とよさと」創刊号発行

**昭和60年**
- 6月
  - 豊郷町コミュニティセンター竣工

**昭和61年**
- 2月
  - 豊郷村日枝村合併30周年記念式典

**昭和62年**
- 3月
  - 勤労者体育センター竣工

**平成16年**
- 3月
  - 豊郷小学校新校舎竣工

**平成17年**
- 4月
  - 彦根市・豊郷町・甲良町・多賀町合併協議破綻
- 3月
  - 豊郷幼稚園3年制保育開始
- 6月
  - 中心市街地公園竣工
- 3月
  - とよさと特産物振興協議会設立

**平成18年**
- 4月
  - 地域包括支援センター設置

**平成19年**
- 3月
  - 高野瀬池公園竣工

**平成20年**
- 9月
  - 子育て支援センター開所

**平成21年**
- 3月
  - 総合計画（第4次）「リスタートプラン」策定

**平成23年**
- 5月
  - 豊郷小学校旧校舎群大規模改修工事竣工
- 10月
  - 湖東定住自立圏（1市4町）形成協定締結
- 6月
  - いきがい協働センター竣工
- 11月
  - 町制施行40周年記念式典

**平成24年**
- 10月
  - 浦安市・室戸市との災害時相互応援協定締結

**平成25年**
- 3月
  - 豊郷小学校旧校舎群 国の登録有形文化財に登録

**平成26年**
- 3月
  - 豊日中学校ランチルーム竣工
- 4月
  - 地籍調査事業開始
- 10月
  - 豊郷町子育て応援医療費助成の拡充により高校生世代までの医療費無料化実施（県内初）

**平成27年**
- 4月
  - 豊日中学校 学校給食開始

**平成28年**
- 11月
  - 町制施行45周年旧村合併60周年記念式典

**平成29年**
- 4月
  - 「とよさとプリン」農林水産大臣賞受賞

**平成30年**
- 4月
  - 小中学校の給食費無償化（県内初）

**平成31年**
- 3月
  - 総合計画（第5次）「生青春」策定

**令和元年**
- 9月
  - 豊郷小学校旧校舎群 鋳鉄製ボイラーが建築設備技術遺産に認定

**令和3年**
- 5月
  - 東京2020オリンピック聖火リレー

**令和4年**
- 2月
  - 豊郷町役場建替工事完了

**令和6年**
- 9月
  - 町制施行50周年記念式典および豊郷町役場庁舎竣工式典
  - 龍ケ池揚水機場が世界かんがい施設遺産に認定・登録

**令和8年**
- 3月
  - 豊郷町史『豊郷町の歴史（史料編）』初刊行
- 10月
  - 合併70周年および町制施行55周年記念式典



おかえり。ただいま。おつかれさま。
そんな声が聞こえてきそうな、ある日の夕方。
人と人とのつながりが息づき、
一人ひとりが自分らしく、
いきいきと元気に暮らせる「青春」のまち、豊郷町。
何気ない日常の中に、笑顔と安心、
未来へつながる豊かな暮らしがあります。



# Information

## 町章

豊郷の「とよ」を図案化したもので、円形にしたのは、町内の和合協力を意味し、上部の両端を左右に出すことで、町の飛躍発展をもたせました。なお、本町は交通の要点にあるので斜に図を切ることで、その意味をあらわしたものです。
（青森県八戸市：塚本秀樹作）

## 町の木 うばめがし



ウバメガシは、非常に頑丈な木で「長寿の木」といわれ、乾燥に耐え、公害にも強く、空気清浄に役立つことから選ばれたものです。
（昭和59年1月1日制定）

## 町の花 ツツジ



ツツジは花の色・形とも非常に豊富で、多くの人々に愛され植栽されています。生活環境の緑化、美化運動の点からも町民の人気を集め選ばれたものです。
（昭和59年1月1日制定）

## 豊郷町恒久平和宣言

世界の恒久平和は人類共通の願いである。私達は、緑豊かな自然の中で伝統と香り高い文化に育まれて日々平和な生活を享受している。この平和を恒久のものとするため世界唯一の核被爆国の国民として全世界の人々に被爆の恐ろしさと苦しみを訴え再度その惨禍を繰り返してはならない。
ここに私達豊郷町民は人類の恒久平和を実現するためわが国の基本方針である非核三原則を堅持し、核兵器の廃絶をめざし核戦争防止を強く訴えここに豊郷町恒久平和の町とすることを宣言する。

## 豊郷町民憲章

私たち豊郷町民は
一、郷土を愛し　うるおいある　美しい町をつくります
一、人権を尊び　心かよう　住みよい町をつくります
一、文化を高め　香り豊かな　伸びゆく町をつくります
一、体を鍛え　活気ある　明るい町をつくります
一、仕事に励み　希望ある　豊かな町をつくります

## 人口

7,043人

**年少人口**（0～14歳）
864人

**生産年齢人口**（15～64歳）
4,157人

**老年人口**（65歳以上）
2,022人

**男性**
3,460人

**女性**
3,583人

## 世帯数

3,215世帯

## 面積

7.80km²

※2026年8月31日現在

*message*

## 町長ごあいさつ



豊郷町長 **伊藤 定勉**

この度、豊郷町は昭和100年という大きな節目の年に、旧村合併70周年を迎えました。
70年の歩みを振り返りますと、時代の流れに適応しながら、豊かな自然や歴史、文化を大切に受け継ぎ、人と人とのつながりを礎として発展を重ねてまいりました。この豊郷町が築き上げた歴史は、私たちに多くの誇りと学びを与えてくれています。
本誌は、豊郷町第5次総合計画の将来像として掲げる「一生青春」というテーマに沿って、「いつまでも、青春中」というフレーズを掲げました。まちをとりまく環境が変化する中で、年齢に関係なく、生涯を通して誰もが生き生きと安心して生活することができるまち、いままでもこれからも青春できるまちを紹介しています。
ぜひ多くの方にご覧いただき、豊郷町への理解と愛着の一助としていただければ幸いです。

いつまでも、青春中



**滋賀県**
**豊郷町町勢要覧**

発行年月：令和8年（2026）10月
発行：滋賀県豊郷町
〒529-1169 滋賀県犬上郡豊郷町石畑375
TEL：0749-35-8111（代）
https://www.town.toyosato.shiga.jp
編集：（株）ジャパンインターナショナル総合研究所